

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、職住共存地区整備ガイドプラン、 新・京都市南部創造まちづくり推進プラン、 らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数(件)	a	d	132	134	4件増	50.0%	c	1.00
2	景観・まちづくりに関する相談件数(件)	b	b	876	898	789件	113.8%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない		
1	身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	c	c	26 5.7%	121 26.3%	208 45.2%	75 16.3%	30 6.5%	460	c
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。						27年度
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・地区計画策定や建築協定などの地域の特性に応じたまちづくりのルール化が自主的に進展した地域が増えてきているものの、土地利用や景観といったハード面からの地域課題の共有化が図られるには至っていない地域もあるため、c評価となった。						26年度
						B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	まちづくり条例の運用	8,048	8,279	—	都市計画局
2	まちづくりに係る調査・企画・支援事業	28,586	33,582	良い	都市計画局
3	都市計画運営経費	143,738	147,215	良い	都市計画局
4	京都市景観・まちづくりセンター	100,795	98,094	—	都市計画局
5	保守用都市計画情報システムの更新	13,220	0	—	都市計画局
6	魅力あるまちづくりを目指した持続可能な都市の構築の検討	0	24,134	—	都市計画局
7	京都市復興都市計画マニュアル作成業務	0	16,134	—	都市計画局
8	烏丸公共地下道維持管理（照明設備更新等）	0	18,961	—	都市計画局
9	烏丸公共地下道維持管理（浸水防止設備の設置）	0	13,456	—	都市計画局
10	窓口閲覧システムの整備	0	60,971	—	都市計画局
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・自主的なまちづくり活動をこれまで以上に進めるため、京都市都市計画マスタープランに基づき、魅力的なまちの実現に向けて、様々な地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくりに関する情報提供、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。

・京都市景観まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり				
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2 - 3 5 0 3		
1 指標の説明						
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数						
2 指標の意味						
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	132	134	2件増	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（平成23年度から155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	50.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。						
7 評価結果						
262728						
a d c						

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2 - 3 5 0 3		
1 指標の説明						
景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数						
2 指標の意味						
市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	876	898	22件増	789件	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	113.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
目標数値と比較し、 a：130%以上 b：110%以上130%未満 c：90%以上110%未満 d：70%以上90%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定 ・20%刻みでa～e評価						
7 評価結果						
262728						
b b b						